

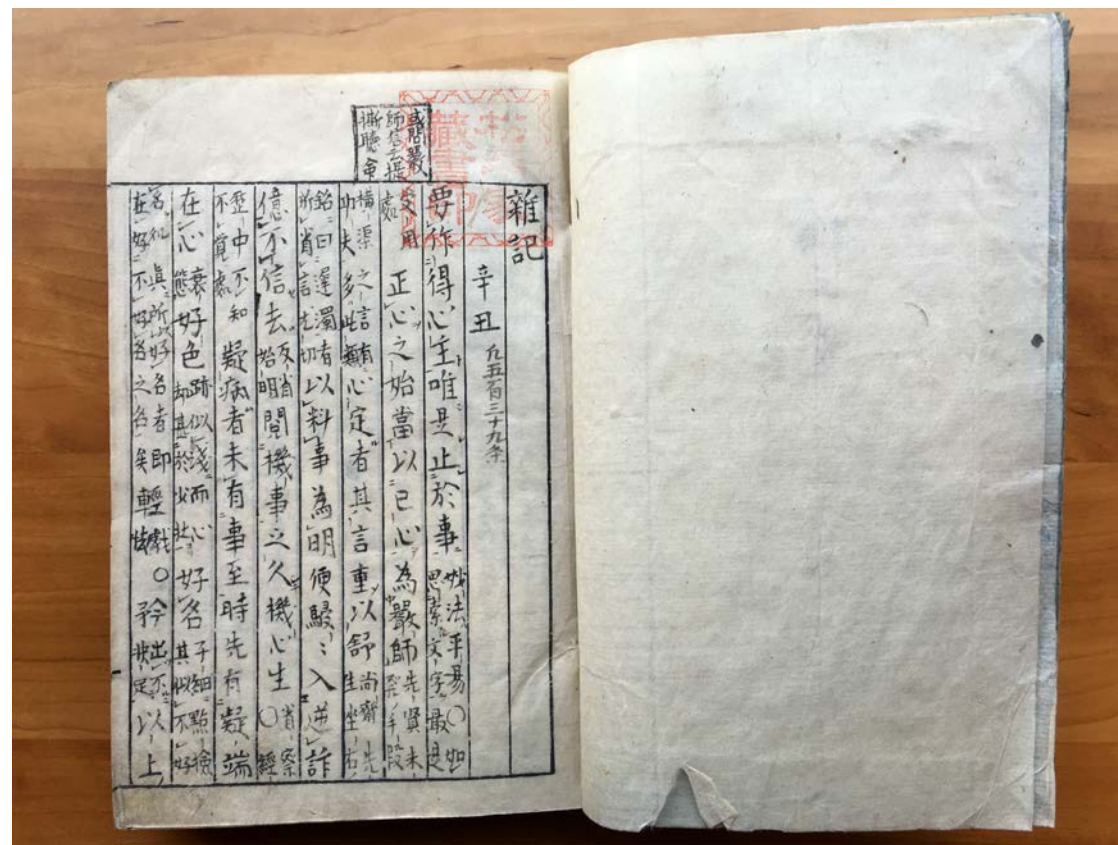
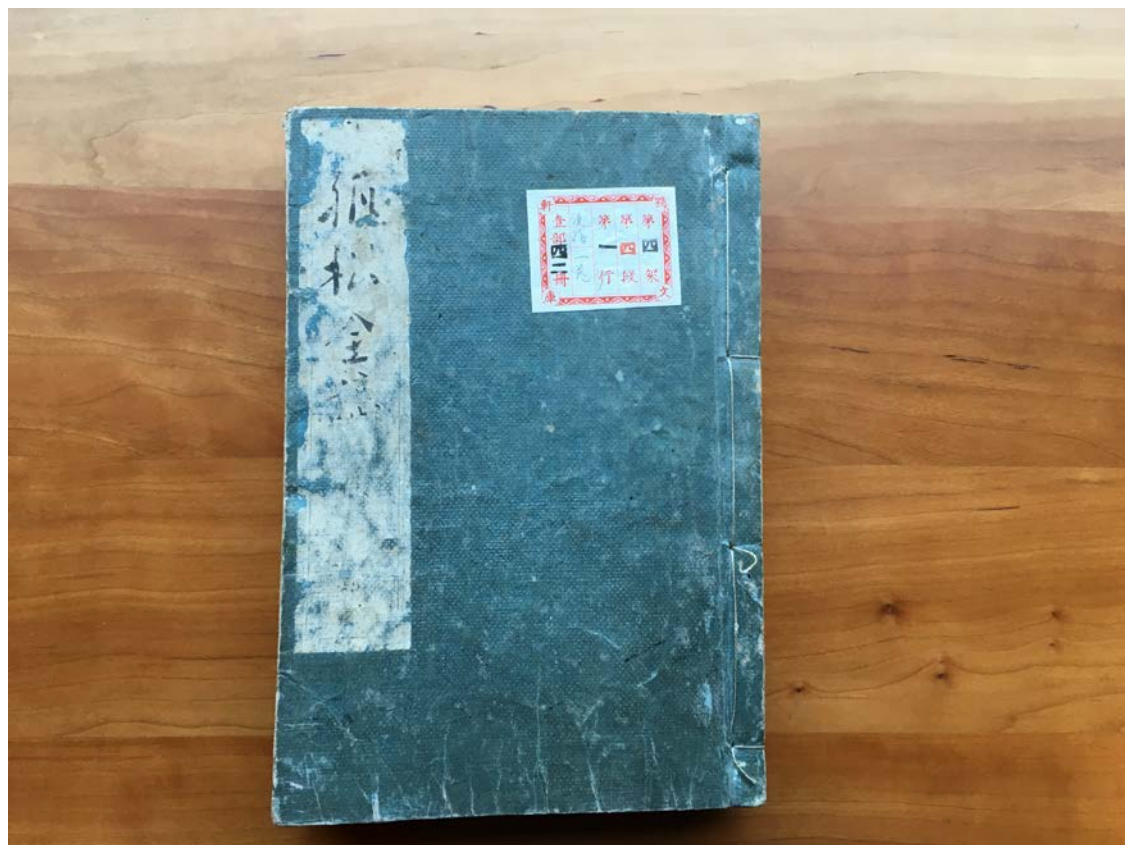


2016 KOTENSEKI WORKSHOP
AT UNIVERSITY OF
CALIFORNIA, BARKELEY
2016.3.11

国文学研究資料館

小山順子

孤松全稿〔近世中・後期〕写4 2冊



能縫合假道學針

○學者常籍古學者為己之語於口然其海貝未嘗會其真味若會之則萬事自別五十年來所為皆為久誠不堪漸濯而動作周還亦非己用

又何心邪 二十九日

○知巧言令色之非仁則真知務本之要且學而一篇大意具而古學者為己之先務吾存真念之

雜記 終

孤松全稿中 雜記 十一行 卷六 外題

稻茶默齋先生筆

作者：稲葉黙齋（いなばもくさい）

- ・江戸時代中期-後期の儒者。
- ・享保17年（1732）11月13日、江戸・日本橋浜町（東京都中央区）に生まれる。
- ・本姓は越智(おち)、名は正信、通称は又三郎、黙齋は号。
- ・稲葉迂齋(うさい)の次男。父の迂齋は、佐藤直方の高弟で、唐津藩儒。
- ・はじめ父に、のち野田剛齋から山崎闇齋(あんさい)派の朱子学をまなぶ。
- ・館林、丸亀など諸藩に進講。新発田(しばた)藩に仕えた。
- ・天明元年(1781)上総(かずさ)(千葉県)山辺郡清名幸谷(せいなこうや)村（千葉県東金市）に隠居した。山崎門学の集大成につとめた。
- ・寛政11年（1799）11月1日死去。68歳。
- ・著作は『孤松全稿』全40巻に収録される。

稲葉黙斎墓



千葉県指定史跡
山武市成東2698（元倡寺本堂裏山）

千葉県教育委員会HP
<http://www.pref.chiba.lg.jp/kyouuiku/bunkazai/bunkazai/p411-053.html>

日本古典籍総合目録データベース (国文学研究資料館HP → 電子資料館)

著作 I D 1111757

統一書名 孤松全稿(こしょうぜんこう)

卷冊 四〇卷

分類 漢学

著者 稲葉/黙齋

著作注記 〈備〉日本古典文学大辞典に解説あり。

国書所在 【写本】千葉県立中央図書館(巻一欠、本編二二巻九冊)
無窮会神習文庫(巻七欠、三九巻四四冊)

【複】〔活〕道学遺書初集

著作種別 和古書

国書 『国書総目録』所収, 1

試者若以舜為仁自是開熱如屋在河上若壁上黏
帆舟益亦是開熱因拳昔日祖師及茶人利休甚之
會 二十三日

○舊日字并小一其其師論道影子文字云云後

來小一宿某家省月出前庭漸觀庭下水盈之

影子會其趣三十三日柳未極著信因言漢儒說夢

朱子或收夢說於吾子句集註中亦猶影子影子有

○不必著文又不必以漢字與友人談道物若欲記之

乃國字尤切人耳予先達遺事本不知文又不達道

故且載不可載之事申然錄之則吾笑何必待人

○漢唐言說甚多合董子道大原出於天轉以我

伊壽之付岳云云亦只夢中談此知甚峻卻索

節尚至不得沉董轉哉 二十四日

○清以幼言既尼隱居者貴公子相伴過其室

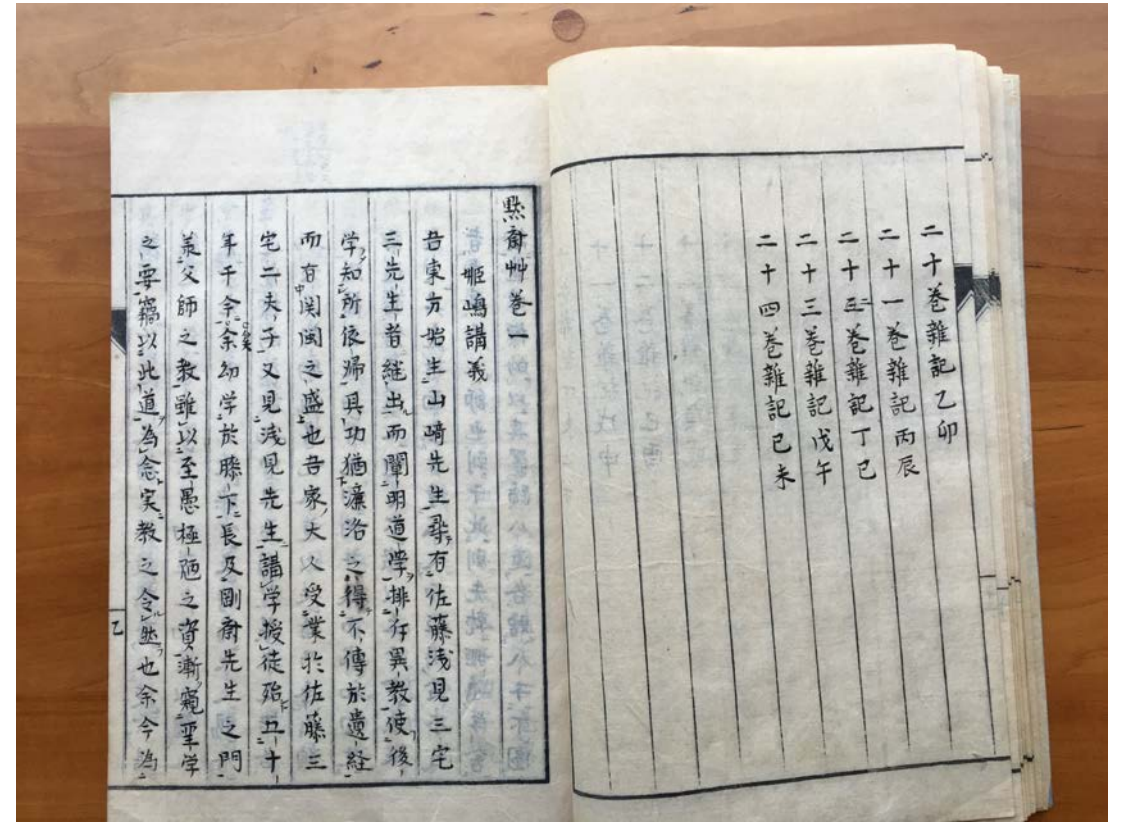
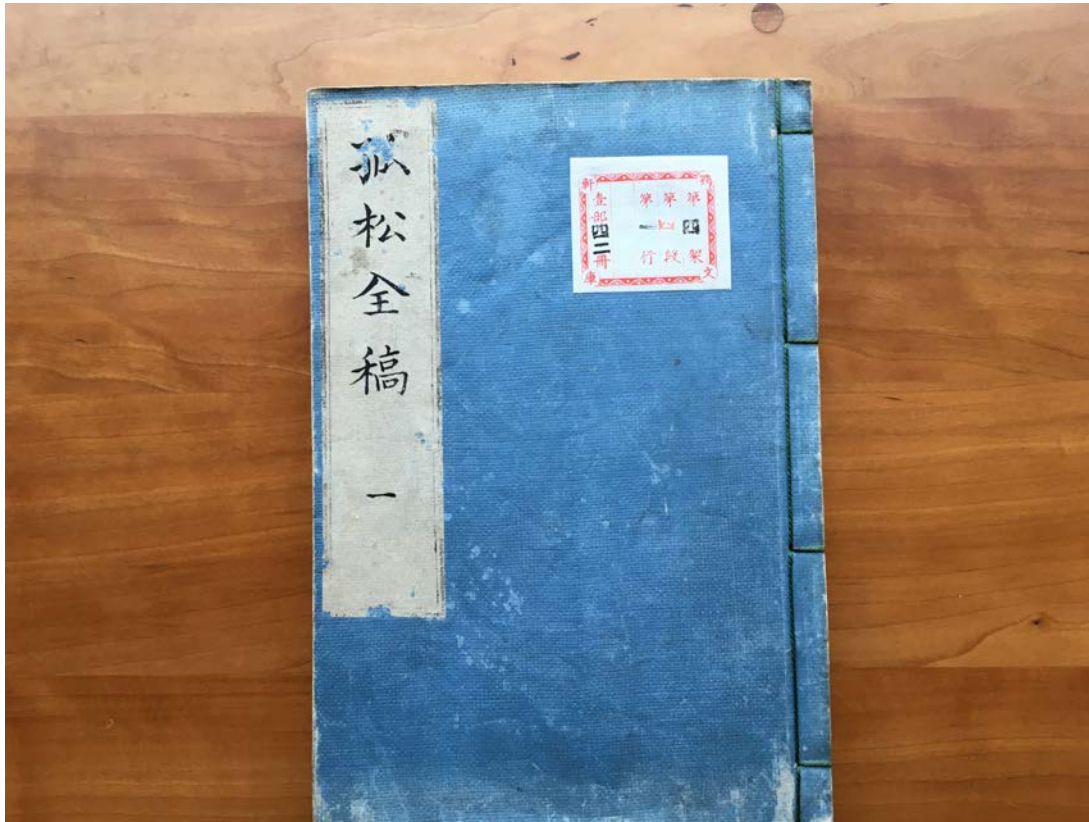
指而云然其間無聲忽見鍾亦為提筆亦有

傷め是形云然放身身不買邪又一時法清氏弟

師賢者有時法清氏同其賢者有罪較光合四股

肱士往捕收之四人乘虛而入四人未識別尼

卷八出法胡而示之專具古事談今日河本



黙齋自筆…後編卷 1 - 14、卷 17 - 24)

自筆でない巻…正編巻 1 - 25、後編巻 15・16

外題 飛田知白

筆者 黒田茂対・福田常去・市川太平など

黒谷茂対…浜田藩（島根県浜田市）藩校教授

浜田藩藩主

1619 - 1648 古田家

1649 - 1759 松平（松井）家

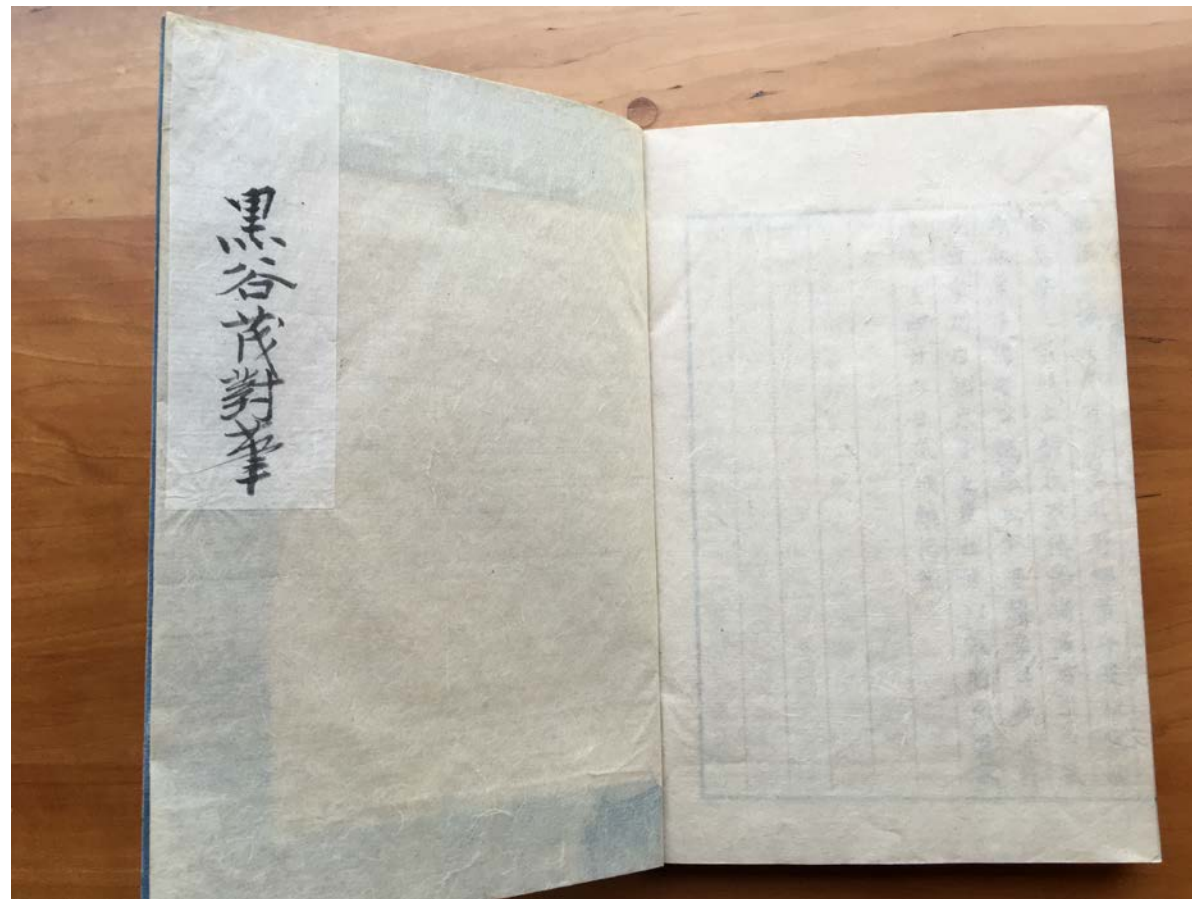
1759 - 1769 本多家

1769 - 1836 松平（松井）家

1836 - 1866 松平（越智）家

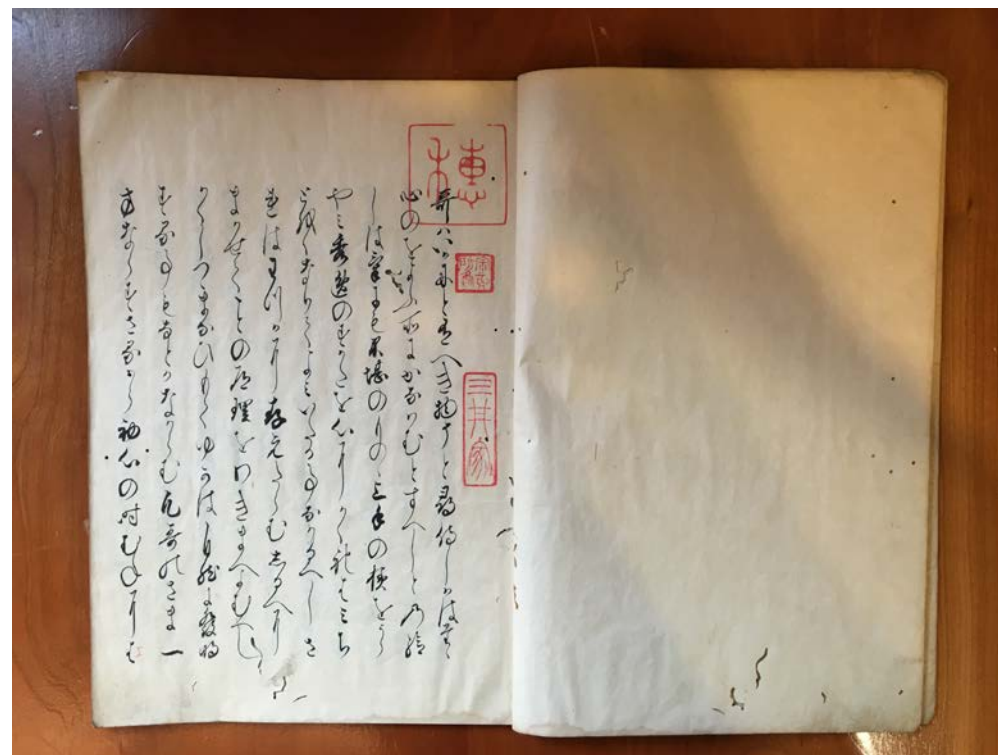
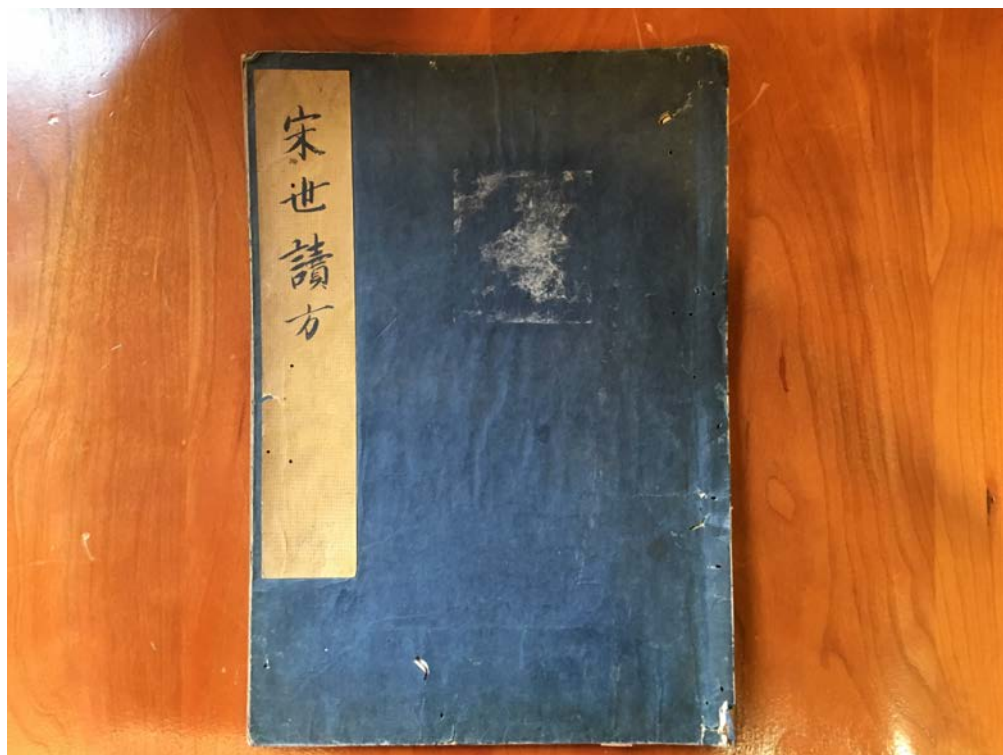
※松平（越智）斉厚は館林藩3代藩主でもある。

※館林藩は黙斎が進講した地。



宋世讀方

〔近世前期〕 写 1 冊



作者：宋世（飛鳥井雅康）

- ・ 室町後期の公卿・歌人。
- ・ 永享8年（1436）生まれ。飛鳥井雅世の次男、兄・雅親の養子となる。
- ・ 家職を継ぎ、足利将軍家の和歌・蹴鞠の師範となる。
- ・ 正三位権中納言に昇る。
- ・ 文明13年（1481）に官を辞し、翌14年に近江国松本で出家、宋世と称す。号は二楽軒。
- ・ 大島本源氏物語は、周防山口の守護大名・大内政弘の求めで、雅康が筆者した本と言われていた（現在では否定されている）。
- ・ 永正6年（1509）死去。

日本古典籍総合目録データベース

著作 I D 1359768
統一書名 宋世読方（そうせいよみかた）
巻冊 一冊
分類 歌学
国書所在 【写】旧三井
著作種別 和古書
国書 『国書総目録』所収, 1

日本古典籍総合目録データベース

著作 I D 349655
統一書名 宋世口伝 (そうせいぐでん)
巻冊 一卷
分類 連歌論
著者 飛鳥井 / 雅康

成立年 延徳三年 (1 4 9 1)
国書所在 【写】 宮内庁書陵部 (江戸初期写、愚見抄と合一冊) ,
国立歴史民俗博物館高松宮家旧蔵

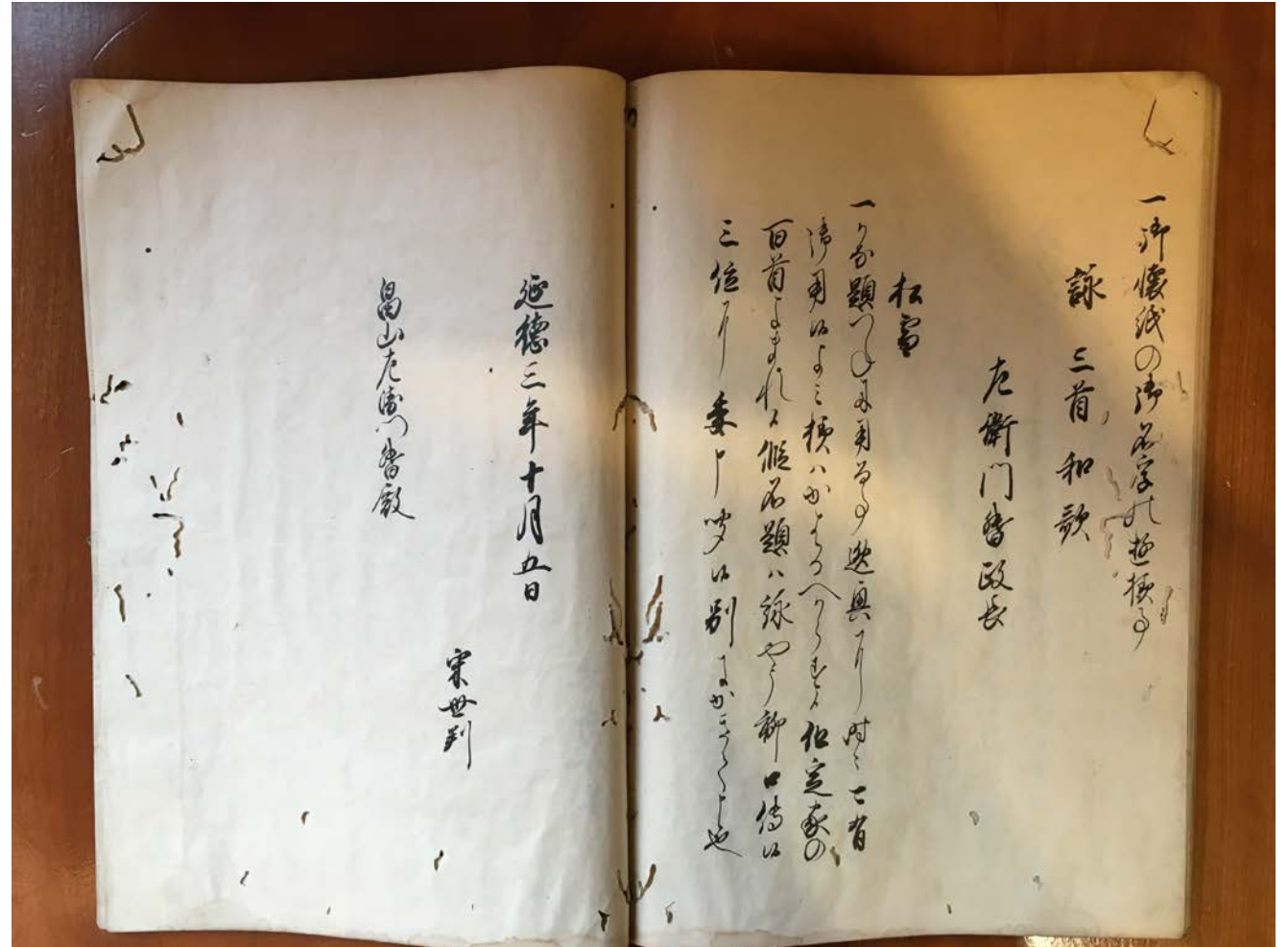
著作種別 和古書
国書 『国書総目録』 所収, 1

- 1 宋世歌傳, 書陵部, 2 0 - 1 9 3 - 6 , 写, 1 冊, 100045494
- 2 宋世口伝, 歴博高松宮, 2 1 - 7 3 - 3 , C 5 0 3 , 写, 1 冊, 100004259

畠山左衛門督

畠山政長

- ・嘉吉2年（1442）生。
- ・畠山持富の子、叔父・持国の養子。
- ・室町幕府の管領（在職：1464～67）
- ・弾正少弼・尾張守・左衛門督。
- ・持国の実子・義就と惣領職を争い、応仁・文明の乱の原因の一つとなる。
- ・延徳3年（1491）当時、政長は50歳。前年に義就が没し、その子・基家（のち義豊）と抗争を続け、河内の平定に乗り出していた頃。
- ・将軍・足利義植を擁して河内に出陣中、本家・細川政元連合軍に攻められ、明応2年（1493）に自殺。52歳。



ご清聴ありがとうございました